

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日：2022年2月15日

(24人中23人回答)

事業所名：こども通所サービスにじいろプラス

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	個別活動時は部屋を区切りスペースの確保ができています。	はい…19:活動スペースは十分。狭い感じはするが少人数のため子どもはのびのび過ごせていると思う。プログラムをこなせている。活動しやすいように、安全に利用できている。どちらともいえない…3 わからない…1:どんなふう活動しているのか実際に見ていないからわからない。	空間をうまく利用して安全に活動できるようにしていく。
	2 職員の適切な配置	子どもたちの利用に配慮を満した配置ができています。	はい…21:少人数(子ども)に対し職員が目がよく行き届いている。体制は適切だと思う。どちらともいえない…1:体操プログラム時に動き回る子にかかりきりで、先生の話の聞けないことがある。わからない…1:1対1にはならないのでしょうか?	子どもの活動が十分に確保できるように対応していく。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	写真やイラストを用いて視覚的に表示をしている。	はい…21:自分のロッカーや椅子に顔写真を付けてわかりやすくしている。きちんと整理もされていて問題ないと思う。子どもの気が散るものを隠してくれている。わからない…1:いろんな障害を持つての方がおられますが、あまり詳しくないのでわかりません。	個々の特性に配慮し、指示が通りやすい工夫を続けていく。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	衛生面を優先しながら、楽しく過ごせる空間の確保に注意を払っている。	はい…23:とても清潔で雰囲気がとても良いです。ケガ防止に机の角など保護されている。	引き続き、衛生管理の徹底を図る。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	定期的なミーティング中、職員間で積極的な意見交換を行い、情報共有に努めている。		職員間で支援計画の共有をさらに深め、振り返りをしていく。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	当法人の理事、社労士等からの意見や小学校、病院等からの評価を活用している。		今後も様々な機関と連携していき、外部評価を受けるようにしていく。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	職員の積極的な各種研修会への参加。他の事業所とのネットワーク会議に参加。		支援に必要な研修会を内部でも実施していき、職員の資質向上に努める。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
適切な支援の提供	1	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	保護者との面談内容を基本に家庭での様子も考慮し、適切な支援計画の作成をしている。	保護者の主訴を大切にしていき、幼稚園・学校の担任等との連携を図っていく。	
	2	子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	個々の特性を生かし、個別で発揮できる力、集団で関わる力を把握しながら作成している。	はい…44:面談で困っている事等を話し合い、計画を作成している。子どもの特性に合わせて接している。子どもや保護者の話を聞いている。 わからない…2:内容が高度すぎてついていけない。	子どもそれぞれの発達に合わせ、わかりやすく、達成可能な作成をしていく。
	3	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	それぞれの特性、行動に応じた支援内容を具体的に作成している。		できる限り、具体的な支援内容を設定し、記載していく。
	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	子どもの特性に応じて、職員の共通理解のもと、個々の計画に即した支援を実施している。	はい…23:色々な体験をさせていただいている。今興味のあることも活動中に行ってくれている。制作や室内、外遊びなど毎回工夫されている。	今後も、日々の送り迎えの時に、保護者との共通理解を図っていく。
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	外部講師とも活動内容について情報共有しながら計画を立てている。		職員全員が研修等をうけた経験・知識を生かしながら、外部講師と共にプログラムの立案・企画・準備に携わっていく。
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	長期休暇では、いつもより早く通所する子どももいるため、時間の区切りをつけて行動することを意識させている。	はい…21 どちらともいない…2:運動療育において、どんな運動、活動をしたかフィードバックがあると嬉しい。	区切りをつけて行動することで、目標を明確に意識させて活動していく。
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	子どもの実態や成長に合わせて活動内容を見直し、支援目標を踏まえた活動も取り入れている。		子どもの成長に合わせて、手先を使う、身体を動かす等、活動内容を工夫し、伝えていく。
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	毎日、活動開始前に1日の内容や役割分担について確認作業をしている。		当日の職員だけが内容を把握するのではなく、関わる職員同士も内容の周知・連絡に携わっていく。
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	毎日活動終了後、振り返りをして、目標達成ができたか、また次の課題・目標についての意見交換を必ず実施している。		意見共有した内容を他の職員にも必ず連絡し、共通意識を図っていく。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
適切な支援の提供	10	日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	毎日、支援内容ごとに記録を残し、職員全員が把握している。	共有していく中で、いろいろな観点・取り組み方の進展に努める。
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	定期的に行っている。	毎日の送り迎えの際に、1日の様子を伝えていく中で、今後の支援計画に繋げる。
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	他の事業所との支援者会議を実施。	他の事業所に加え、行政との支援者会議にも参加していく。
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施		
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備		
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	幼稚園や小学校に子どもの様子を見学に行き、情報共有を行い、ケース会議を実施している。	今後も諸機関との連携を図っていく。
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	対象者が出た時のために、資料や情報の収集準備を行っている。	対応できるような情報収集に努めていく。
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	各種専門機関と連携を図り、小児精神科医との事例検討会も実施。	引き続き、いろいろな研修に参加・実施していく、資質向上に努めていく。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
関係機関との連携	7 児童発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	当法人の保育園との交流は実施しているが、他の機関とは、コロナ感染対策のため実施できていない。	はい…21:同じ系列の認可外保育園に通っているため、沢山交流があり良いと思う。どちらともいない…2 いいえ…2:今まではなかった。わからない…13:公園での活動ではあると思うが、それ以外はわからない。機会があれば、近隣の保育所や幼稚園と交流したい。子どもにとって良い刺激になると思う。	コロナ感染が落ち着けば、他の地域機関との連携活動を増やしていきたい。
	8 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	今年度はコロナ感染対策を徹底した上で事業を実施した。	なし	コロナ感染が落ち着けば、地域との交流事業を増やしていきたい。
保護者への説明責・連携支援	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	利用者の負担等については、契約時に重要事項説明書で説明を行っている。	はい…23:丁寧な説明、わからない事を聞きやすい。	今後も、保護者にきちんと説明ができるように努めていく。
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	保護者に対し、短期目標・長期目標を具体的に提示し、支援内容についての確認を随時行っている。	はい…23:わかりやすく説明を受けた。	子どもの実態・成長過程を重視して、丁寧な説明をしていくようにする。
	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	ペアレント・トレーニング講座、小児科医による講座の実施。	はい…18:講演会やプログラムのお知らせをいただく どちらともいない…1 わからない…4	今後もニーズに沿った講座や勉強会を計画していく。
	4 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	送り迎えの時に学校や家庭での様子を聞き、また事業所での子どもの状況を伝えている。	はい…21:お迎え時にその日の状況等伝えていただいている。子どもの今の状況や、親の相談もたくさん聞いてくれるので頼りになる。ノートを利用し、その日の活動(写真付き)がわかり、成長を感じられる。子どもに感じている疑問や問題等について相談した際、親身になって考えてくれる。否定的でなく安心できる。 どちらともいない…2:もう少し相談したい。	顔が見えている関係作りを、なお一層構築していく。
	5 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	保護者からの相談には随時対応して助言し、必要があれば、関係機関につなげていく。	はい…22:無理に何かをすることはなく、少しずつハードルを上げて、興味を持てるように進めて下さるので、子どもも楽しく安心して通う事ができている。 どちらともいない…1:もう少し相談したい。	今後も引き続き、保護者の思いに添いながら支援していく。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
保護者への説明責・連携支援	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	今年度はコロナ感染対策のため、あまり実施できていない。	はい…6 どちらともいえない…1 いいえ…5: 活動がなかった。わからない…11: 保護者同士の交流は少ない。コロナ禍なので開催はないと承知していた。	コロナ感染が落ち着けば、保護者のニーズを踏まえて開催していく。
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	苦情に対しては窓口を設置している。	はい…12: 警報機の赤ランプを隠してくれた。どちらともいえない…1 わからない…10: 苦情がなかったのかわからない	保護者が話しやすい環境整備に努める。
	8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	子どもにはイラストを見せて伝えたり、簡単な手話を使って指示が通りやすいように工夫している。	はい…20 連絡帳と口頭でその日の様子を詳しく教えてもらって嬉しい。いいえ…1 わからない…2	それぞれの子どもたちに対応していけるように心がけている。
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	HPの活用、お迎えに来られた時に手紙を配布して、説明をしながら発信している。	はい…14 どちらともいえない…2: 行事予定(クリスマス会・誕生日会等)少し前の週に知らせてくれると嬉しい。 わからない…7: HPを見られていない。	HPの活用や連絡帳の利用等による情報提供を工夫する。
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	書類等は鍵付き書庫にて保管。職員全員に徹底している。	はい…22 わからない…1	個人情報については、守秘義務の徹底に努める。
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	職員全員に徹底している。	はい…20: プリントの作成もしてしっかり周知できている。 わからない…3	緊急時の対応について、職員間の徹底を図っていく。
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	子どもたちに緊急時の対応について繰り返し伝えている。	はい…11 どちらともいえない…3: 定期的なのかわからない。 いいえ…1: 今まではない。 わからない…8	これからも、定期的に避難訓練を実施していく。
	3	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応	職員の研修を繰り返し実施。いくしあ・保健センター等、各支援施設との連携もしている。		定期的な研修会の実施や事例検討会への参加。
	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	保護者には、具体的に伝えている。		子どもの実態を把握し、療育中、安全に過ごせることに重点を置いていく。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
非常時等の対応	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	保護者からの申し入れがあれば、医師からの診断書を提出してもらい、対応する。		職員同士で情報共有し、アレルギー対応には責任をもって対処する。
	6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	事業所内で作成し、共有をしている。		日常の中で、常に意識を持つように周知徹底に努める。